

令和4年度 男鹿市学校教育の基本方針

本市は、「健康・教育・環境でみんなが夢を実現できるまち」を目指しており、男鹿市総合計画において、まちづくりの基本目標の一つに「教育の振興」を掲げている。

今、学校には、変化の激しい社会をたくましく生き抜き、郷土や社会を支える人材、世界に羽ばたく人材の育成が求められている。刻々と変化し続ける社会をたくましく生きていくためには、自ら、あるいは他者との協働により、生涯にわたって学び続けるための資質・能力が必要である。また、本市の小・中学校においては、人口減少により小規模化が続く中で、活力ある学校づくりや、統合による学区の広域化における地域とのつながりの維持が課題となっている。さらに、情報化の急速な進展など教育の今日的課題に即応していく上で、教師の指導力の育成や、年々増加傾向にある若手教員への研修機会の確保が不可欠である。

これらを踏まえ、本市学校教育においては、「ふるさと男鹿を愛し、確かな学力、豊かな人間性、たくましい心と体を持ち、ふるさと男鹿の将来を担う子ども」の育成を目指す。目指す姿の具体については、次のように捉える。

「確かな学力」… 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、それらをつないで活用していくことができる力

「豊かな人間性」… 自身や身の回りの人・物・ことに対して愛情や思いやりの心を持ち、互いに尊重しながらよりよく関わっていきこうとする態度

「たくましい心と体」… 自分の可能性を信じ、前向きな態度で学び続けることができる心身学校はもとより地域全体に学びの場を広げ、こうした資質・能力の育成を図る。また、子どもたちの成長を支える教職員の力量を高めるために、引き続き「教職員の研修の充実」を推進する。

男鹿市の目指す子ども像

ふるさと男鹿を愛し、確かな学力、豊かな人間性、たくましい心と体を持ち、
ふるさと男鹿の将来を担う子ども

《学校教育の重点目標》

<確かな学力の育成> 1 学習指導の充実 2 小・中連携の推進 3 地域の教育力の活用	<豊かな人間性の育成> 1 心に響く道徳教育の推進 2 ふるさと男鹿に根ざしたキャリア教育の充実	<たくましい心と体の育成> 1 自己肯定感や自己有用感を高める生徒指導の充実 2 健康で過ごす安全・安心な学校づくり
<教職員の研修の充実> 1 教育関係機関及び学校間の連携による研修の充実 2 校内研修の充実		

《学校教育推進の基盤》

【コミュニティ・スクールの仕組みを生かした豊かな学びの創造】

ふるさとを学びの場とし、「地域を学ぶ」「地域を生かす」「地域に貢献する」「地域と学ぶ」活動を通して、学校と地域の一層の活性化を図る。